

今大会における競技・審判上の共通注意事項

競技委員長 加藤 勉

審判委員長 及川千春

1 入館・受付

- 入館者全員がIDカードを携帯し、首から提げること（大会の周知事項を認識しているという証明・不審者対策）
- 持参物→チーム名板（A4・得点板掲示用、各チームが準備し管理する。）
 - ・監督やチーム代表者がチーム受付を行う。

2 帯同役員

- ・各チーム帯同役員を決めておくこと
 - ①. チーム入場時の整理・誘導
 - ②. 館内・館周辺の見回り（選手の安全・喫煙等のマナー等）
 - ③. 1試合目…3試合目のチームでお願いします
 - ④. 2試合目以降…前の試合で、敗退したチームでお願いします

3 補助役員

- ・第1試合の補助役員は第3試合のチームが行う。その後は敗者チームが次の試合の補助役員を行う。
- ・各チームはラインジャッジフラッグを用意し補助役員時に使うこと。
- ・補助役員（ラインジャッジ・点示）にあたる際は、飲料水（ペットボトル不可）を持参し、セット間等に水分補給を行うこと。

4 服装について

- ・ベンチ役員は統一されていること。（Tシャツ・短パンは認めない。）

ただし、子どもがベンチスタッフの場合の格好は、他のベンチスタッフと異なってもよい。
- ・監督、コーチ、マネージャー章は必ず左胸に着用する
- ・選手の服装はルールに準ずる
- ・アンダーウェアが、ユニフォームから出てしまう着用は禁止とする。

5 試合時の行動

- ・テクニカルタイムアウトは、11点（3セット目8点）、デュースの際は、両チームが31点（3セット目は21点）になったときに適応。以降は、両チームが7点おきにとる。
- ・選手の荷物は、個別にしなくてもよい。
- ・ベンチでのうちわの使用はタイムアウト・テクニカルタイムアウト・セット間のみとする。
 - 選手は試合中、ワイピングタオルをコート内の選手が1名以上持ち、汗等で濡れた床を拭くこと。
 - ベンチは9脚 ※会場によって、その限りではない
 - テクニカルタイムアウト（TTO）は健康観察のためのタイムアウトとする。選手はベンチ横からウォームアップエリアに位置し、ベンチスタッフは給水ができるように準備をする。

給水を行なうか否かの判断は選手本人の意思による。モップがけは強制ではない。※詳細は、2025年度小学生ルールの取り扱いに準ずる。
 - 各セット終了時、コート内の選手はエンドラインに整列後、コートチェンジを行い、控え選手とベンチスタッフはチームの荷物を持ちコートチェンジを行う。

6 会場での行動

- ・ 公共施設や学校などの御厚意でお借りしている場所であることをわきまえ使用上の注意を十分に守ること。
- ・ 選手の着替えは各会場で定められた更衣室を使用し、保護者が必ず付き添うこと。
- ・ 各チームの横断幕の掲出は試合時のみとする。

7 その他

- ・ 都大会初日（10/19・26）は各チーム1試合目の試合前に、10分間の練習時間を設ける。※朝の全体練習は行わない。
- ・ 都大会2日目（11/3）については、競技委員が試合前の練習時間を設定し、試合ごとに周知する。
- ・ 試合が連続する場合もしくは、補助役員担当後に試合がある場合は、試合間を最大15分空けることができる。
- ・ 選手やベンチ役員の飲料水はペットボトルを持ち込まず、スクイズボトル等の口を直接つけるタイプの水筒を使用すること。なお、その際床にこぼさないように十分注意してください。ただし、審判員はその限りではない。
- ・ 大会当日については当日の会場責任者の指示に従ってください。
- ・ 体育館使用に際してはお借りしているということを忘れず、使用上の注意を十分に守る。
- ・ 試合の状況により、コートの変更もある。
- ・ 応援はタオル、うちわ、プラカードを掲げることができる。
メガホンを使用する場合は、各チーム一つまでとする。※60cmを超える大きいものは不可
- ・ 応援は、該当のチーム同士でスペースを譲り合って応援してください。
- ・ うちわの使用はタイムアウト・テクニカルタイムアウト・セット間のみとする。
- ・ 各チームの横断幕掲載については、会場の競技委員の指示に従うこと。
- ・ 最終試合チームや補助役員チームは会場の片づけの協力をする。
- ・ 給水用のボトルを入れるかご等については必要最小限の大きさにし、大きなワゴン(キャンプカート等)については、選手の安全を守る視点からベンチの横に置かないこととします。

体育館使用に際してはお借りしているということを忘れず、使用上の注意を厳守しましょう。

お互いが気持ちよく試合ができるように、協力しましょう。